

開催日時	平成 29 年 8 月 4 日 (金)	会 場	(一社) 神奈川県建築士事務所協会 2 階会議室
------	---------------------	-----	--------------------------

出席者 (○)	部 会 長 : ○山中信悟 副 部 会 長 : ○高野淳一 委 員 : ○内田幸夫 ×相馬立夫 ○赤川真理 ○岩間幸司
------------	---

【第 3 部】 伝統構法部会 分科会 ※議事録 (担当 : 高野)  
 伝統構法部会

① 委員 (部会員) の紹介

山中→高野→内田→赤川→岩間の順で自己紹介

② 伝統構法部会の設置目的について確認

(1) 伝統構法木造建築物に関する見学会及びセミナーの企画・運営

29 年度は 4 回の企画を予定。

1 回目:10/28 木造塾@桜木町婦人会館 講師 樫原健一氏

2 回目:11 月末 現場見学会@秦野 東光寺 担当 内田氏

3 回目:1 月中旬 限界耐力計算講習会@神事協 2 階会議室 講師 山中氏、高野

4 回目:3 月中旬 現場見学会@保土ヶ谷 大仙寺 担当 内田氏

(2) 伝統構法に関する保存活用等における技術普及活動及び指導助言

相談事業として HP を作成しては如何か? チラシも有効的では。

(3) 限界耐力計算解析法の研究

この部会にて JSCA 関西に講習を受けに行くのはどうか。

(4) その他

③ 伝統構法部会の適用範囲 (自由意見)

岩間氏:構法的な話や現場見学会を行い R 活用を目的としたい。

赤川氏:建築物としての位置付けの中で伝統構法を普及したい。

内田氏:基本的に住宅と社寺との伝統構法が違うものとして考えている。

そもそも何が伝統構法なのか、金物を使用しない構法が良い伝統構法なのか?

何処が在来なのか伝統構法なのか?

次回の部会は 10 月下旬~11 月上旬に行いたい。メールにて連絡する。

開催日時	平成 30 年 9 月 20 日 (木)	会 場	(有)湘南建築工房一級建築士事務所
------	----------------------	-----	-------------------

出席者 (○)	部 会 長 : ○山中信悟 副 部 会 長 : ○高野淳一 委 員 : ×内田幸夫 ○相馬立夫 ×赤川真理 ○岩間幸司
------------	---

1. 部会長挨拶

2. 講習会準備について

- ・進め方及び配布資料等について確認した。

「木造建築物の限界耐力計算 II ver.2 を使用した入力演習」

前回までの振り返り 約 30 分 エクセルシート入力演習

総括、及び計算後の作業等解説

開催日時	平成 30 年 1 月 17 日 (水)	会 場	神事協地下会議室
------	----------------------	-----	----------

出席者 (○)	部 会 長 : ○山中信悟 副 部 会 長 : ○高野淳一 委 員 員 : ×内田幸夫 ○相馬立夫 ○赤川真理 ○岩間幸司
------------	---

(1) 委員長挨拶 省略

(2) 議事録 今回担当 : 高野

(3) 3 月見学会 (大仙寺@保土ヶ谷) について

- ・ 3/7 (水) に決定
- ・ 会費 ¥1,500 × 30 名 = ¥45,000
- ・ 時間は内田さんに確認の上決定 (午後予定)
- ・ 懇親会は保土ヶ谷駅@場所 or 担当 未定
- ・ アナウンスに懇親会費は明記せず

(4) 限界耐力計算講習会について

- ・ 1 回目 6 月 27 日 (水)
- ・ 2 回目 8 月 22 日 (水)
- ・ 3 回目 10 月 24 日 (水)

いずれも 受付 13:30 講義 14:00~17:00 (3h)

- ・ 会費 : ¥5,000 × 30 人 = 150,000
- ・ 講師 : 山中・高野・相馬
- ・ 会報 5 月号に案内を出す (原稿 4/13 〆切)
- ・ 懇親会は記載せず
- ・ 次回に内容詳細を決める

次回 3/12 (月) 15:00~17:00

開催日時	平成 30 年 3 月 12 日 (月)	会 場	神事協会議室
------	----------------------	-----	--------

出席者 (○)	部 会 長	○山中信悟		
	副 部 会 長	○高野淳一		
	部 会 員	×内田幸夫	○相馬立夫	○赤川真理

(1) 部会長挨拶 省略

(2) 議事録について (今回担当: 山中)

(3) 大山寺見学会について

①募集をもっと早めにするべきだった。

②プロジェクターの準備等対策が必要。(ケーブル等の準備、ただ次回以降は大丈夫そう)

③工事中の見学会にはヘルメットが必要となり持参を条件としているが持ってこない  
→ 今回は内田工務店、悟工房の予備ヘルメットで対応  
→→ 一定数を確保しておいた方が良いかもしれない。今後の検討課題

④駐車場の案内をもっと詳しくするべきか? 参加者が調べるべきでは?

(4) 限界耐力計算連続講座 (仮称)「誰でもできる限界耐力計算法」

※3回まとめたの申し込みとする (各 5000 円 (非会員 6500 円))

第 1 回 6 / 27 概論編: 建防協での扱いについて  
簡易計算法、J-SHIS 利用について  
用意した数値による簡易演習  
PC 又はタブレット必要 (電卓必須)  
説明 (60 分)、演習 (60 分)、演習解説 (60 分)

第 2 回 8 / 22 準備計算編: 荷重拾い、復元力特性集計  
PC 又は電卓必須  
参考案件を用意し演習  
説明 (60 分)、演習 (60 分)、演習解説 (60 分)  
※演習の終わらないものは宿題とする。

第 3 回 10 / 24 総合演習編: JSCA 関西のエクセルを用いて詳細設計法演習  
※PC 必須 (エクセルが動けば何でもよい)  
宿題質疑、説明 (60 分)、演習 (60 分)、演習解説 (60 分)

募集チラシを作成し 4 / 13 までに完成させる。現在山中の校正待ち

○テキストについて

大阪マニュアルは大阪府建築士会へ購入しに行く必要がある。JSCA 関西版は HP よりダウンロード可能であるが著作権の関係により個人利用のみが許可されており有償講習会にての配布は許可されていない。(後日、JSCA 関西と協議する)  
上記補足教材の第 6 部については JSCA 関西にて購入可能  
(購入方法は後日 JSCA 関西と協議する)

※4 / 4 山中が JSCA 関西と大阪にて協議実施

マニュアル本体は参加者が各々ダウンロードし印刷して講座に持ち込むことは差し支えない。主催者側で用意することは好ましくない。

第6部についてはJSCA関西事務局にてまとめて注文してもらえれば送付しますとのこと

→ 法定団体が部会を設けて同設計法を普及させることに寄与していただくことは歓迎する。

JSCA関西も出来る限りの支援をさせていただくとのことのお言葉をいただきました。

・次回 伝統構法部会 未定

開催日時	平成30年5月17日(木)	会場	大船生涯学習センター第4会議室
------	---------------	----	-----------------

出席者 (○)	部会長 ○山中信悟 副部会長 ○高野淳一 部会員 ×内田幸夫 ○相馬立夫 ○赤川真理 ○岩間幸司
------------	--

- (1) 部会長挨拶 省略
- (2) 議事録について (今回担当: 山中 (メモ赤川))
- (3) 連絡事項  
 連休前に募集を開始した  
 ※その他は講習会準備会にての召集のため省略

大仙寺見学会の瓦版への寄稿について: 内田担当 (別途連絡済)

- (4) 限界耐力連続講習会について
  - ・申込数報告 定員数申し込み完了 (満員御礼)
  - ・講習会進行及び当日役割について  
 第1回: 山中、第2回: 高野、第3回: 相馬
  - ・構成について  
 第1回 (山中) 限界耐力計算の概要 (計算方法について)
    - ◎ダウンロードテキストを持っていない人への特別対応はなし  
 ※事前に申し出のある人へは個別相談とする。  
 ※募集要項内のアドレスがリンク切れとなっているため対応要
    - ①建防協の扱い上の説明、計算すべき項目、適用の範囲など総合解説  
 ※限界耐力計算の原理などの細かい部分は省略する (時間の都合無理)
    - ②地盤種別の判断演習 (net利用により J-SHIS マップ操作)  
 ※部会員は会場内で操作補助に回る
    - ③簡易計算法の演習 (解説を交えて準備計算数値を与えて図表の選択を行う)  
 ※部会員は会場内で図表の疑義に対応する
    - ④時間構成の都合質疑はFAX等で受け付けるかの検討が必要  
 →講習外質疑は期間限定とし書面のみとする。(即時回答はなし)
    - ★当日は準備計算の演習は行わない。
    - ★本講座では利用しないがJSCA関西の事例集マニュアル (以下第6部) の一括購入に関して希望者を募り参加者から購入の希望を取る。  
 (2800円/冊+送料+手数料)  
 送料等の按分があるので定価以上の金額となる。
    - 配布資料: パワポ印刷、課題図面印刷 (3回共通利用)、演習に当日必要なテキストページ、質疑応答用紙 (検討) 等
  - 第2回 (高野) 準備計算 (荷重拾い、復元力特性)
    - ①建物要素、荷重要素の集計に際しての解説  
 ※詳細は今後打ち合わせとするが山中&高野での実例を整理して課題図面とする
    - ②上記項目について課題図面より実際に拾いを行う。  
 ※部会員は会場内で拾いの補助をする。
    - ③復元力特性は補正の考え方が複雑な為代表的な個所で解説をする  
 ※講習で取り扱わない復元力特性の要素の補正を解説含む
    - ★当日の演習時間内に完了しなかった人は次回までの宿題とする。
    - 配布資料: 第6部 (希望者のみ)、パワポ印刷、演習に必要なテキストページ

### 第3回（相馬）総合演習

#### ①詳細設計法の解説

※前回実施した数値をもとにJSCA関西が用意しているエクセルプログラムへ入力をする手順を解説（エクセルの利用環境必須）

#### ②上記内容を演習

※エクセルは当日配布する。（参加者が自主的にDLするのは妨げない）

前回の演習した数値は回答例を解説時に配布する

※部会員はエクセルの会場巡回の上動作確認を行う

※マクロ動作環境必須

#### ③総合解説

※入力した結果の判別の仕方を説明する

※この結果をもとに補強設計をどのように進めるべきかを解説

実務上の詳細な取り扱いについてはこの講習後各自JSCA関西にての講習を促す。

現段階では部会による実務案件のアドバイスは実施しない

※レビューを必ずJSCA関西へ申し込み実務をするように促す

（レビューを受ける条件としてJSCA関西の講習を受ける必要がある）

課題資料を前もって部会員へ送る（山中）